

尿素窒素		40500			
		担当部署			
UN		生化			
<b>検査オーダー</b>					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダー手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→			
	3	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→			
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		緊急対応(24 時間)			
<b>検体採取・搬送・保存</b>					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	他材料	10 青	分離剤	8	mL
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			
<b>検査結果・報告</b>					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		8-20mg/dL 日本臨床検査標準化協議会 共用基準範囲				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	mg/dL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
8	20	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>食事蛋白質や組織の分解などアミノ酸の脱アミノ反応によりNH<sub>3</sub>が産生される。このNH<sub>3</sub>は肝臓の尿素サイクルに入り、最終代謝産物である尿素に合成され腎臓より排泄される。したがってBUN値は摂取蛋白、蛋白異化、肝による尿素合成、腎による排泄の3要因の影響を受ける。一般的にはこのうち腎機能の検査として利用されることが多いが、血清 Cr 値との比(BUN/Cr)より腎不全患者の蛋白制限食の管理などにも用いられる。</p> <p>日本臨床第7版 651,2009</p>				